技術支援成果事例

眼球運動検査装置 "yVOG (ワイボーグ) -Glass" の開発

■支援の概要

赤外線カメラを内蔵した眼鏡型の眼球運動検査装置の開発を支援しました。

■医療機器の概要

対象疾患:良性発作性頭位めまい症、 原因:内耳の前庭にある耳石が剥がれ三半規管に入る

症 状:回転性のめまい(目がぐるぐるまわる)、一時的な吐き気・嘔吐・難聴 検査方法:眼球運動を画像解析(縦方向・横方向・回旋(回転))、保険点数300点

■支援の項目

- ①医療現場ニーズ調査、開発テーマ探索、医療機器メーカとのマッチング
- ②要求仕様のとりまとめ
- ③フレンツェル眼鏡デザイン研究(受託研究)



·商品名

「y VOG (ワイ・ボーグ) -Glass」(商標登録済)

·一般名称

眼球運動検査装置(クラスⅡ:管理医療機器)

·特徴(検査項目)

赤外線カメラから得られた眼球の映像を画像処理することにより眼球運動の検査をする。 x-y軸運動の解析、回旋の解析

·認証機関

SGSジャパン

•**認証番号** 第229AFBZX00076000号

·認証書発行日 2017.10.27



「第9回 山口県産業技術振興奨励賞 山口県知事賞」受賞

■支援の成果

従来の赤外線フレンツェル眼鏡に比べ、デザイン性が高く、性能を飛躍的に高めることに成功しました。

- ①従来の装置に比べて高精度(倍以上のフレームレート)かつ高度な解析(回線)が可能
- ②患者が長時間装着しても疲れない国内では初めて眼鏡タイプを実現
- (日本人の男女、大人から子供まで、様々な頭部の大きさにやさしくフィットする構造)
- ③耳鼻咽喉科分野で国内トップシェアの医療機器メーカーから発売。

担当職員 デザイングループ 松田晋幸 イノベーション推進センター 松本佳昭

支援企業:株式会社YOODS(山口市) 第一医科株式会社(東京都)

山口大学医学部耳鼻咽喉科学研究室